

## 安全データシート

作成日 2019年10月30日

改訂日

## 1. 化学品及び会社情報

製品の名称	粉体試薬残留塩素高濃度(100回分)
製品コード	080560-1021A/-2020
会社名	柴田科学株式会社
住所	埼玉県草加市中根1-1-62
担当部門	品質保証部
電話番号	048-931-7276
FAX番号	048-931-0563
推奨用途及び使用上の制限	残留塩素高濃度、有効塩素濃度測定用試薬

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	可燃性固体 区分外 自然発火性固体 区分外 水反応可燃性化学品 区分外
健康有害性	急性毒性(経口) 区分外 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1 生殖毒性 区分1B 生殖毒性 追加区分(授乳影響) 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(甲状腺) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(甲状腺、皮膚、全身毒性)

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

## GHSラベル要素

## 絵表示

注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
重篤な眼の損傷  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
授乳中の子に害を及ぼすおそれ  
甲状腺の障害  
長期にわたる、又は反復ばく露による甲状腺、皮膚、全身毒性の障害

## 注意書き

安全対策	保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 妊娠中、授乳中は接触を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。
応急措置	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
保管	施錠して保管すること。
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

## 化学物質・混合物の区別

## 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
pH調整剤(コハク酸)	<10%	HO2CCH2CH2CO2H	(2)-846	既存	110-15-6
クエン酸ナトリウム	<15%	C6H5Na3O7	(2)-1323	既存	68-04-2
ヨウ化カリウム	<80%	KI	(1)-439	既存	7681-11-0

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行  
令第18条の2第1号、第2号・別表第9)

ヨウ化カリウム(政令番号:606)(76%~77%)

## 4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

皮膚を速やかに洗浄すること。

水と石鹸で洗うこと。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

## 5. 火災時の措置

消火剤

粉末消火剤、二酸化炭素、散水。

特有の危険有害性

可燃性物質:燃えるが、容易に発火しない。

火災時に刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

空気式呼吸器(SCBA)を着用する。

防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

風上に留まる。

低地から離れる。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外は近づけない。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

環境中に放出してはならない。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法・機材

危険でなければ漏れを止める。

漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

妊娠中、授乳中は接触を避けること。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

眼に入れないこと。

空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

保管場所には本製品を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

酸化剤から離して保管する。

容器を密閉して保管すること。

安全な容器包装材料

包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

## 8. ばく露防止及び保護措置

化学名又は一般名	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2015年版)	ACGIH (2015年版)
pH調整剤(コハク酸)	未設定	未設定	未設定
クエン酸ナトリウム	未設定	未設定	未設定
ヨウ化カリウム	未設定	未設定	0.01ppm(1FV)

設備対策  
保護具

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

呼吸器の保護具  
手の保護具  
眼の保護具

必要に応じて個人用呼吸器保護具を使用すること。

必要に応じて個人用保護手袋を使用すること。

眼の保護具を着用すること。

安全眼鏡を着用すること。はね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること。

皮膚及び身体の保護具

顔面用の保護具を着用すること。

必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状态	固体
	形状	結晶性粉末。約0.1g個包装。アルミパックに封入。
	色	白色
臭い		無臭
臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		データなし
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		データなし
燃焼性(固体、気体)		難燃性
燃焼又は爆発範囲	下限	適用されない
	上限	適用されない
蒸気圧		データなし
蒸気密度(空気=1)		データなし
比重(密度)		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール／水分配係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件では危険有害な反応は起こらない。
化学的安定性	通常の保管および取扱いの条件においては安定である。
危険有害反応可能性	過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。
避けるべき条件	日光、熱、湿気。
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	一酸化炭素。

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口	データ不足のため分類できない。
	経皮	データ不足のため分類できない。
	吸入(蒸気)	データがなく分類できない。
	吸入(粉じん)	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び刺激性		データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		コハク酸が区分1、成分濃度の合計が濃度限界(3%)以上のため、GHS:区分1「重篤な眼の損傷」に該当する。

呼吸器感作性	データがなく分類できない。
皮膚感作性	データがなく分類できない。
生殖細胞変異原性	データがなく分類できない。
発がん性	データがなく分類できない。
生殖毒性	ヨウ化カリウムが区分1Bで濃度限界(0.3%)以上のため、GHS:区分1B「生殖能又は胎児への悪影響のおそれ」に該当する。 ヨウ化カリウムが追加区分(授乳影響)で濃度限界(0.3%)以上のため、GHS:追加区分(授乳影響)「授乳中の子に害を及ぼすおそれ」に該当する。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	成分濃度が濃度限界(10.0%)以上の区分1の成分はヨウ化カリウム(甲状腺)であるため、GHS:区分1(甲状腺)「甲状腺の障害」に該当する。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	成分濃度が濃度限界(10.0%)以上の区分1の成分はヨウ化カリウム(甲状腺、皮膚、全身毒性)であるため、GHS:区分1(甲状腺、皮膚、全身毒性)「長期にわたる又は反復ばく露による甲状腺、皮膚、全身毒性の障害」に該当する。
吸引性呼吸器有害性	データがなく分類できない。

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性(長期間)	データ不足のため分類できない。
オゾン層への有害性	モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物・汚染容器及び包装	焼却炉で少量ずつ焼却処理するか、都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。  廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
----------------	--

## 14. 輸送上の注意

国際規則	Regulatory Information by Sea	Not dangerous goods
	Regulatory Information by Air	Not dangerous goods
国内規制	陸上規制	非該当
	海上規制情報	非危険物
	航空規制情報	非危険物
特別の安全対策	輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に進行。 重量物を上積みしない。	
緊急時応急措置指針番号	なし	

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)(ヨウ化カリウム) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法57条1、施行令第18条)(ヨウ化カリウム)
---------	--

## 16. その他の情報

連絡先	柴田科学株式会社
参考文献	NITE GHS分類公表データ RTECS ECHA C&L Inventory Database ECHA Registered substances Database  記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。